

アトピーってどうすればわかるの？

START!

とてもかゆい！



毎日のゴハンに
原因が？

ノミのせい
かもしれない...



酵母菌が増えて
いるかもしれない...

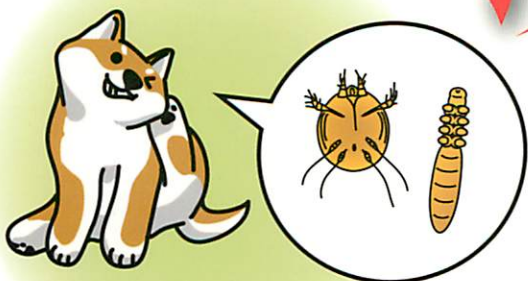


まだかゆい...

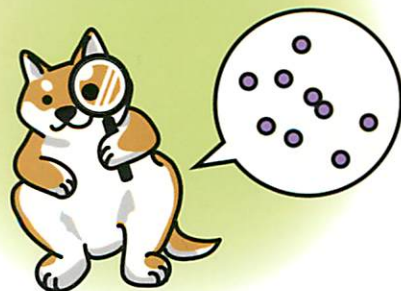


アトピーかも!?

ダニがいるかも
しれない...



バイ菌が増えて
いるかもしれない...



犬のアトピー性皮膚炎の診断フローチャート

「かゆい！」を主訴に来院

point 1 外部寄生虫症を疑う

・ノミアレルギー(アトピーに合併する可能性あり)

症状：背部中心の病変

検査：ノミ駆除剤投与後2~3週間の反応をみる

・疥癬(アトピーとの鑑別特に注意)

症状：きわめて強い急性のかゆみ
耳介辺縁、肘部、膝の病変

検査：浅いスクレーピング

治療：イベルメクチン300 μ g/kg皮下投与に反応？

・毛包虫症

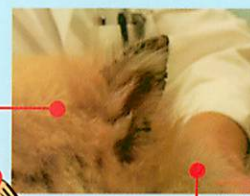
症状：定型的な症状がない

検査：深いスクレーピングもしくは抜毛試験で発見

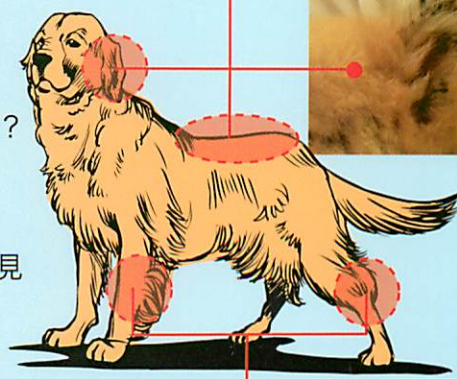
治療：イベルメクチンを第一選択として使用



ノミアレルギー



疥癬



next

point 2 感染症の合併を疑う

・表在性膿皮症

症状：毛包炎または表皮小環

検査：押捺塗抹細胞診で球菌多数

治療：セファレキシン25~30mg/kgを1日2回、3週間投与

・マラセチア過剰増殖

症状：強い発赤とかゆみ

検査：押捺塗抹細胞診による酵母の確認

治療：抗真菌剤、抗脂漏シャンプー使用



毛包虫症



表在性膿皮症

next

point 3 食物成分の関与を疑う

症状：臨床症状からのアトピーとの鑑別は困難

検査：除外食試験



マラセチア過剰増殖

上記のいずれでもなく、まだかゆみが残存している場合は
アトピー性皮膚炎の可能性が高くなる。

point 4 臨床的なアトピー性皮膚炎の診断

* 初発が3~5歳以下

* 好発犬種(柴犬・シーズー・レトリバー・ウエスティ等)

* 顔(耳介、眼周囲、口唇)、足(肢端、趾間、趾背部)、腹側中心の病変

* 慢性のかゆみを伴う皮膚炎

* 季節性の変化の病歴

